

交野市庁舎整備基本構想（案）の変更点について

【変更箇所】

◆本篇12ページ（3）庁舎整備の必要性 本文及び表1-2

変更前	変更後
<p>行政系施設の現状と課題については、前述のとおりであり、将来にわたり持続可能な公共施設サービスを提供し続けるため、また防災拠点機能としての重要性からも庁舎整備を早急に進めていくことが必要です。</p> <p>そこで、新たな建築物（RC造）が適切に維持管理を施していくことにより、80年間使用できるものと仮定し、今後、80年間でどれだけコストが必要とされるのか比較します。</p> <p>その際には、利用実態調査も踏まえて検討した施設規模（13,000㎡）を想定し、現地での建替えを想定した場合に発生する各種の付帯費用も<u>考慮したうえで比較を行います。（表1-2）</u></p>	<p>～ 中 略 ～</p> <p><u>各種の付帯費用も考慮するとともに、現施設に施す必要がある長寿命化対策に相当する経費も考慮したうえでの比較とします。（表1-2）</u></p>

【変更後の表 1-2】

(表 1-2 今後 80 年間のコスト試算例)

		整備年次 (n)	n + 20 年次		n + 40 年次	n + 60 年次	合計	
		面積 (㎡)	長寿命化相当 (25 万円/㎡)	建替え (40 万円/㎡)	その他 (付帯費用)	中規模修繕 (12 万円/㎡)		大規模改修 (25 万円/㎡)
既存施設を継続使用する場 合	市役所本庁舎	4,788	12.0 億円	19.2 億円	※	5.7 億円	12.0 億円	48.9 億円
	市役所別館	1,852	4.6 億円	7.4 億円	※	2.2 億円	4.6 億円	18.8 億円
	青年の家	4,463	11.2 億円	17.9 億円	※	5.4 億円	11.2 億円	45.7 億円
	小計	11,103	27.8 億円	44.5 億円	21.7 億円	13.3 億円	27.8 億円	135.1 億円

	面積 (㎡)	建替え (40 万円/㎡)	その他 (付帯費用)	中規模修繕 (12 万円/㎡)	大規模改修 (25 万円/㎡)	中規模修繕 (12 万円/㎡)	合計
集約化・複合化による建替えの場合	13,000	52.0 億円	4.0 億円	15.6 億円	32.5 億円	15.6 億円	119.7 億円

※付帯費用以外に土地代・移転補償費・家屋補償費など事業用地移転補償費など約十数億円

なお、本表は、2020 年 2 月での建築単価見込みであり、今後の社会情勢の変化などにより変動するものである。

【参考】

整備に要する財源としては、市町村役場機能緊急保全事業の活用を中心に検討。

本制度を活用した場合の地方交付税措置額（見込み）は、9,000 ㎡（庁舎機能）×400 千円=36 億円と整備費を仮定すると

概ね 8 億円と計算できる。（令和 2 年度中の実施設計着手が要件）

なお、今後の詳細な設計により、防災関係や環境関連の補助金等の獲得を目指していく。

【変更箇所】

◆本篇39ページ ①来庁手段について

変更前	変更後
<p>現状として、河内磐船駅・津田駅・交野市駅からいきいきランドへ京阪バスが走っていること、駐車場及び駐輪場の整備が可能であることから、来庁手段は一定確保されます。</p> <p>しかしながら、庁舎が移転することで新たな活動の拠点が生まれることから、市域全体の交通環境については、<u>関係部署と情報共有を図るとともに、周辺道路の整備など施設利用者の安全性の確保について検討していくことが必要です。</u></p>	<p>～ 中 略 ～</p> <p>しかしながら、庁舎が移転することで新たな活動の拠点が生まれることから、市域全体の交通環境については、<u>周辺道路の整備など施設利用者の安全性の確保を検討すること、また新たな交通手段のあり方についても、市域全体の公共交通を踏まえ、今後も関係各部署と情報共有を図りながら検討していくことが必要です。</u></p>